

2013年 経済情報学科教員業績一覧

(2013年1月～2013年12月)

渋谷 正

<学会報告>

渋谷 正 「『ドイツ・イデオロギー』の復元の歴史——異文表記史概観——」 『ドイツ・イデオロギー』 Online 試作版専門家国際会議 (東北大学), 2013年3月1日

橋本 直樹

<発表論文(単著)>

「社会思想史・運動史研究のための宝庫「服部文庫」 裁判報告書『ライプツィヒ大逆罪裁判』(1872年)を例に」 『尚絅学院大学紀要』, 第65号, 2013年7月, (38)-(43)ページ。

「『共産党宣言』最初の英訳をめぐる諸問題」 鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第81号, 2013年10月, 69-113ページ。

松川 太一郎

<発表論文>

論文名: 「警察統計における認知件数の概念的把握について」

学会名: 熊本学園大学経済学会

雑誌名: 『熊本学園大学 経済論集』第19巻・第3・4合併号, 2013年3月。

<学会報告>

報告タイトル: 「犯罪統計作成におけるモラルハザード」

学会名: 日本統計学会 (於学習院大学), 2013年3月。

永田 邦和

<発表論文>

「非効率な銀行閉鎖政策と銀行監督」, 鹿児島大学法文学部『経済学論集』第80号, 2013年3月。

<学会報告>

「預金市場の競争度と市場規律」, 日本金融学会2013年度秋季大会 (名古屋大学), 2013年9月21日。

<その他>

「信金の預金急増の現状と課題」, 金融ジャーナル社『月刊金融ジャーナル』2013年5月号。

三浦 壮

< 発表論文 >

「戦間期日本における鉱業資本家と地方工業化の展開——山口県宇部地域における株主の投資行動と所得構造を事例として——」社会経済史学会『社会経済史学』, 第78巻4号, 2013年2月, 査読付。

中島 大輔

< その他 >

(翻訳)

ハインツ=ヨアヒム・ドレーガー『トーアシュトラッセ - 街並みに見るハンザ都市の歴史 -』朝日出版社, 2013年11月

「ドイツ, EU 関連ニュース」(EU の拡大および機構改革に関するドイツ語ニュースの翻訳・WEB 公開。2013年1月~12月まで計54本)

<http://ecowww.leh.kagoshima-u.ac.jp/staff/nakajima/schritt01.html>

城戸 秀之

< 発表論文 >

「地域情報化における社会的位相の重要性に関する試論——大分県の行政ケーブルテレビ局を事例として——」鹿児島大学法文学部『経済学論集』, 第81号, 2013年10月。

大前 慶和

< 発表論文 >

大前慶和「鹿児島大学における生ごみアップサイクルモデルの展開と学生教育」『環境と安全』(大学等環境安全協議会), Vol.4, No.3, pp.221-228, 2013

< 学会報告 >

(口頭発表)「体験型環境教育と環境配慮行動との関係性に関する試論」廃棄物資源循環学会(北海道大学工学部), 2013.11.4

(ポスター発表)大前慶和, 上原研二, 林あゆみ, 宮崎麻帆, 山元勇人「スイーツとファンドを特徴とする市民参加型生ごみアップサイクルシステム~ネットワーク型ソーシャルビジネスモデルの提案~」廃棄物資源循環学会九州支部(福岡大学), 2013.5.18(優秀ポスター賞受賞)

(ポスター発表)林あゆみ, 山元勇人, 大前慶和「生ごみアップサイクルモデルとして

のエコスイーツ活動～橋渡し型ソーシャル・キャピタルの視点から～」廃棄物資源循環学会（北海道大学工学部），2013.11.2

（ポスター発表）大前慶和「環境活動を活用した大学カリキュラムの実践」廃棄物資源循環学会（北海道大学工学部），2013.11.3

<その他>

（分担執筆）『鹿児島大学 Sustainable Campus Project (SCP) 2012年度活動成果報告書』，2013.3

桑原 司

<論文>

桑原司，「シンボリック相互作用論の方法論的立場」，『研究論文集——教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集』，Vol.6, No.2, pp.19-32 (2013年3月).

Tsukasa Kuwabara and Ken'ichi Yamaguchi, An Introduction to the Sociological Perspective of Symbolic Interactionism: Revised Edition, Journal of Economics and Sociology, Kagoshima University, No.80, pp.115-125 (2013年3月).

Tsukasa Kuwabara and Ken'ichi Yamaguchi, An Introduction to the Sociological Perspective of Symbolic Interactionism, The Joint Journal of the National Universities in Kyushu, Education and Humanities, Vol.1, No.1, pp.1-11 (2013年10月).

<翻訳>

T. シブタニ著，木原綾香・奥田真悟・桑原司（訳）「パースペクティブとしての準拠集団」，Discussion Papers In Economics and Sociology, No.1301, pp.1-16 (2013年4月).

北村 浩一

<発表論文>

「マッキンゼー『管理会計』における control とその意味」『経済学論集』（鹿児島大学経済学会），第81号，2013年10月，pp.37-68。

<学会報告>

2013.9.15 立命館大学 管理会計学会2013年大会「マッキンゼー『管理会計』における control - 『予算統制』からの視座 - 」

大芝 周子

<発表論文>

「新比較経済学に対する批判的考察 - ビジネス・グループに関する論点から - 」経営哲学学会『経営哲学』，10巻1号，2013年3月。

澤田 成章

<学会報告>

「退職給付債務の公正価値と裁量的行動：過去勤務債務の償却年数設定に注目して」,九州アカウンティング・フォーラム・大分会計研究会 合同研究会 (大分大学), 2013年 5月 3日

<その他>

「退職給付会計基準のコンバージェンス」, 一橋ビジネスレビュー, 61巻 2号, 2013年・9月

平井 一臣

<発表論文>

平井一臣・土肥勲嗣・出水薫「日韓ナショナリズムと自治体間関係 - 日本側アンケート調査を手掛かりとして -」『政治研究』第60号, 2013年 3月。

<学会報告>

「ポピュリズム化する地方政治」日本地方自治学会関西西部会, 於鹿児島大学, 2013年 3月。

<その他>

書評「小谷敏著『ジェラシーが支配する国』」『南日本新聞』2013年 4月28日。

北崎 浩嗣

<発表論文>

「さとうきび品目別経営安定対策と交付金条件」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第80号, 2013年 3月。

「与論町におけるさとうきび品目別経営安定対策への対応」『奄美ニューズレター』NO37, 2013年 3月。

<学会報告>

「島嶼農業の維持とさとうきび品目別経営安定対策 - 奄美と沖縄の比較検討を通じて -」政経史学会九州部会 (九州大学), 2013年 9月。

片桐 資津子

<発表著書(分担)>

「高齢者の生きがいはどう変わってきたか」『福祉社会学ハンドブック——現代を読み解く98の論点』(福祉社会学会10周年記念出版) 中央法規, 150-1, 2013年 7月。

<学会報告(単独)>

「尊厳死法による終末期ケア現場への影響に関する社会学的考察——米オレゴン州ポー

トランド市の事例より」, 第71回西日本社会学会 (琉球大学), 2013年5月11日.

「特養経営モデルの理論化の試み 従来型特養の管理職の質的データを用いて」, 第11回福祉社会学会 (立命館大学), 2013年6月30日.

<その他>

(講演)

「高齢期の理想と現実——再帰的エイジングと生きがいの集大成」, ライフプランセミナー (マリンパレスかごしま), 2013年11月6日.

「ムラの欲望——稼げてカッコイイ地域社会の条件」, 共生・協働推進大会 (薩摩川内市川内文化ホール), 2013年11月14日.

林 亮輔

<発表論文>

「市町村合併による財政活動の効率化 - 合併パターンを考慮した実証分析 - 」, 単著, 『会計検査研究』(会計検査院), 第47号, pp.27-38, 2013年3月.

「都市自治体の労働コスト格差と要因分析」, 単著, 『経済学論集』(鹿児島大学法文学部), 第80号, pp.85-102, 2013年3月.

「集積の経済の検証(1) - 生産関数の推計によるアプローチ - 」, 単著, 『産業活力を強化するための空間構造戦略』(アジア太平洋研究所), pp.18-30・64-73, 2013年3月.

「集積の経済の検証(2) - 包絡分析法を用いたアプローチ - 」, 共著, 『産業活力を強化するための空間構造戦略』(アジア太平洋研究所), pp.31-48・74-85, 2013年3月.

「都市自治体の労働コスト格差と要因分析」, 単著, 『九州地区国立大学教育系・文系研究論文集』(九州地区国立大学間の連携に係る企画委員会リポジトリ部会), 第1巻1号, pp.1-23, 2013年10月.

<学会報告>

「地域政策と空間構造 - 企業活動に基づいた都市圏域の設定 - 」, 単独報告, 日本財政学会第70回全国大会 (慶應義塾大学), 2013年10月.

「産業活力強化のための空間構造戦略」, 共同報告, 日本財政学会第70回全国大会 (慶應義塾大学), 2013年10月.

菱山 宏輔

<著書>

(分担執筆)

「安全・安心コミュニティの転換 防犯をめぐるセキュリティの技術・主体像と管理される環境」, 『安全・安心コミュニティの存立基盤』御茶の水書房, pp.93-133, 2013年3月.

「不安の深層から 見えない犯罪の裏側を探る」吉原直樹・近森高明編『都市のリアル』有斐閣, pp.47-65, 2013年8月.

「移動とリスク・セキュリティの多層的風景」『人の移動事典・日本からアジアへアジアから日本へ』丸善出版, pp.346-347, 2013年11月.

<学会報告>

「1960年代町内会の革新と包摂再論 東京都の防犯灯問題と「明るい町造り」を事例として」, 地域社会学会第38回大会(立命館大学・佛教大学), 2013年5月.

「震災と閉塞するコミュニティ 仙台市中心部近隣住民組織の事例から」, 第86回日本社会学会大会(慶應義塾大学), 2013年10月.

<その他>

(報告書)

「地域防災の展開と課題についての社会学的研究: 仙台市中心部の事例に着目して」鹿児島大学地域防災教育研究センター『南九州から南西諸島における総合的防災研究の推進と地域防災体制の構築』(平成24年度国立大学法人運営費交付金特別経費(プロジェクト分) 地域貢献機能の充実), 29-33, 2013年3月.

(講義・講演)

「都市部町内会の現状と活性化の方向性」鹿児島市八幡地区コミュニティ協議会(八幡地区コミュニティセンター), 2013年6月.

「講評」警察庁九州管区警察局『ブロック別防犯ボランティアフォーラム2013(九州ブロック)』, 福岡建設会館, 2013年6月.

「講評」鹿児島県警察本部『平成25年防犯ボランティア団体代表者交流会』, 鹿児島県警察本部, 2013年11月.

福山 博文

<発表論文>

「使用済み耐久消費財における処理事業民営化の経済分析」, 鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科『地域政策科学研究』第10号, pp.69-79, 2013年3月.

<学会報告(共同)>

“Peak-End Effect in Salary Determination: The Case of Japanese Professional Baseball,” 88th Annual Conference of Western Economic Association International (Seattle, Washington, USA), July 1, 2013.

<その他(ディスカッションペーパー)>

“Peak-End Effect in Salary Determination: The Case of Japanese Professional Baseball,” Discussion Papers In Economics and Sociology, Faculty of Law, Economics and Humanities of Kagoshima University, No.1302, 2013年9月.

日野 道啓

< 発表論文 >

「環境物品貿易と非市場的手段の意義 - 非関税障壁への対応をめぐる提案に注目して」
『九州地区国立大学教育系・文系研究論文集』 Vol.1, No.1, pp.1-14, 2013年10月.

< その他 >

(書評)

「ドラッカー, P.F. 『「経済人」の終わり』 No.105, p.50, 2013年 2月.

(論説)

「TPP 世論調査」識者コメント 『南日本新聞』 2013年 5月 4日.

「アレルギーの心配がない米粉, パン用に米国へ輸出」識者コメント 『読売新聞』 2013年 7月29日.